

科目名	事前・事後指導(中学校教育実習)	科目ナンバー	LA-TT0223-Wt			
担当者 (実務経験名)	特任教授 佐長健司、特任教授 福嶋真郷 (中学校教諭, 小・中学校副校長・教頭, 教育委員会主任指導主事) 教授 桐生直代(高校教員)					
履修期	2年 前・後期	卒業単位				
免許・資格	中学校教諭二種(国語・音楽)必修、1単位					
授業概要	事前指導は、実習生としての心構えや、学校の教育活動に参画する意識を高めることを主な目的とします。また、実習の中心である授業への準備として、模擬授業についての知識、技能を高めます。事後指導では、自らの教育実践の反省と振り返りを通して、教員免許取得までに習得すべき知識や技能等についてさらに高め、教育実習の成果と課題を実習報告会で発表し、相互に教育実習の意義を理解するようにします。					
到達目標	知識・理解	本学で学んだ基礎的な知識を実習に活かすことができる。				
	思考・判断	実習での諸課題に担当教員等の助言を得て、適切な判断ができる。				
	興味・意欲・態度	教育実習を通して、教職を目指す強い意欲を示すことができる。				
	技能・表現	教師に求められる基礎・基本的な業務の一部に取り組むことができる。				
授業計画	授業内容		事前事後学習内容	時間 (時間/週)		
	1	教育実習の心構え、態度、その他について(事前指導)	これまでの学習を振り返り、実習への意識を高める	2		
	2	望ましい学習指導と生徒指導について	実習校との事前協議、教育実習日誌の使い方を考える	2		
	3	国語、音楽の現職の先生の授業参観	指導案に目を通し、質問内容を考える	2		
	4	国語、音楽の現職の先生の授業参観を振り返る	授業内容をもとに質問、意見を用意する	2		
	5	学習指導案作成の個別指導と模擬授業	学習指導案を作成し、授業を構造化する	2		
	6	学習指導案作成の個別指導と模擬授業	学習指導案を作成し、授業を構造化する	2		
	7	学習指導案作成の個別指導と模擬授業	学習指導案を作成し、授業を構造化する	2		
	8	実習校での教育実践についての意見交換と課題の省察	担当教員、実習訪問教員に実習報告をする	2		
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
成績評価方法		知識・理解	思考・判断	興味・意欲・態度	技能・表現	評価割合
	筆記試験					
	レポート					
	課題	○	○		○	10%
	実技	○	○	○	○	70%
	受講状況・態度		○	○	○	20%
その他						
フィードバックの方法	提出した課題はコメントを付けてフィードバックします。					
教科書	教育実習校で使用する音楽、国語の教科書。					
参考書	文部科学省学習指導要領国語、音楽。その他必要に応じて紹介する本。					
アクティブ・ラーニング	模擬授業を交互に繰り返して行う。板書、演奏など実際の授業の動きの中で、課題点の修正を行う。また、相互に模擬授業の評価を行い、意見を出し合う中で、授業の質を向上させる。					
ICT活用	パソコン室または貸出用iPadを用いて、文部科学省、各自治体教育委員会の法令、通達、その他の情報を精査します。					
メッセージ・備考	教育実習には十分な準備が必要です。その中心は授業です。事前指導(模擬授業等)で教育実習が困難だと判断する場合には話し合いの上、実習取り消しとなる場合があります。					
関連科目	その他の教職専門科目					